

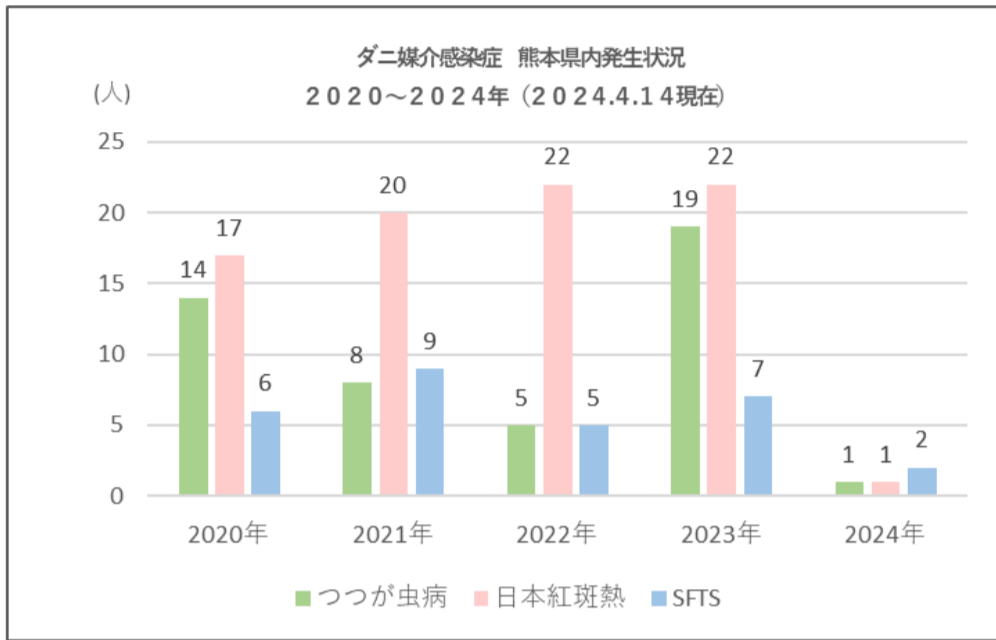


熊本市 感染症発生動向調査 速報



●ダニ媒介感染症に注意しましょう

先日、ダニが媒介する感染症の一つである「日本紅斑熱」が今年初めて熊本県内で報告されました。ダニ媒介感染症は、病原体を保有するダニに咬まれることで発症します。主なものに、ツツガムシが媒介する「つつが虫病」、マダニが媒介する「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」等があり、症状や潜伏期間は疾患によって異なります。マダニ等は、春から秋にかけて活動が盛んになるため、野外活動時にはマダニ等に咬まれないように対策をとりましょう。また、ダニに咬まれた際は無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置をしてもらいましょう。



病名	主要症状	潜伏期間
つつが虫病	頭痛、悪寒、全身倦怠感、食欲不振、高熱、発疹（主に体幹部）	約5~14日
日本紅斑熱	頭痛、全身倦怠感、高熱、発疹。	約2~8日
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	発熱、消化器症状、時に頭痛、神経症状（意識障害、けいれん等）、呼吸器症状、出血症状。	約6~14日

主なダニ媒介感染症【厚生労働省「ダニ媒介感染症」HPより抜粋。詳しくはそちらをご覧ください。

定点種別	疾患名	状況	14週(4/1~4/7)		15週(4/8~4/14)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	102	4.08	44	1.76
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	49	1.96	36	1.44
小 児 科	RSウイルス感染症	/	10	0.63	16	1.00
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	5	0.31	5	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	78	4.88	77	4.81
	感染性胃腸炎	—	35	2.19	30	1.88
	水痘(みずぼうそう)	—	5	0.31	5	0.31
	手足口病	—	7	0.44	4	0.25
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	3	0.19	11	0.69
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	1	0.20	7	1.40
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし